

コロナ禍のなかで万全の3密対策 創立記念日・仙台七夕に挙行

工藤治夫 お別れの会



モニター右には七夕の天の川をイメージし、両サイドにはタケがあしらわれた(祭壇サイズは間口9間)

Data	
日時	2020年8月8日(土) 14時00分～15時00分
場所	仙台迎賓館 斎苑 (仙台市青葉区)
故人名	工藤治夫(工藤電機会長) 2020年6月21日死去(83歳)
式形態	無宗教献花方式
祭壇形式	生花祭壇
会葬者数	約250人
主催者	工藤電機
施行業者	清月記

祭壇データ	
▶ 祭壇サイズ	間口16.2×高さ6×奥行4m
▶ 使用花材	スプレーデルフィニウム160本、トルコギキョウ150本、キク140本、スプレーマム140本、オンシジウム50本、オクラレルカ50本、オリエンタルユリ40本、レザーファン200本、ロベーレニー180本、ゴットセフィアナ80本、タケ6本、ドウダンツツジ5本
▶ 制作時間	1人で8時間
▶ 遺影サイズ	800インチスクリーン

高度な最先端電源技術を活かし、加速器科学分野のみならず、半導体製造装置用、医療分野に電源装置を提供している工藤電機(株)の創業者で会長を務めていた工藤治夫氏が2020年6月21日に亡くなられ、コロナ禍の8月8日にお別れ会が行なわれた。

故人は1986年のみやぎ工業会の設立に尽力し、専務理事、副会長を歴任。宮城産業人クラブ会長や青少年の科学技術に対する夢と情熱を支援する仙台市太白少年少女発明クラブを2005年に設立するなど、団体・地域貢献にも注力した。

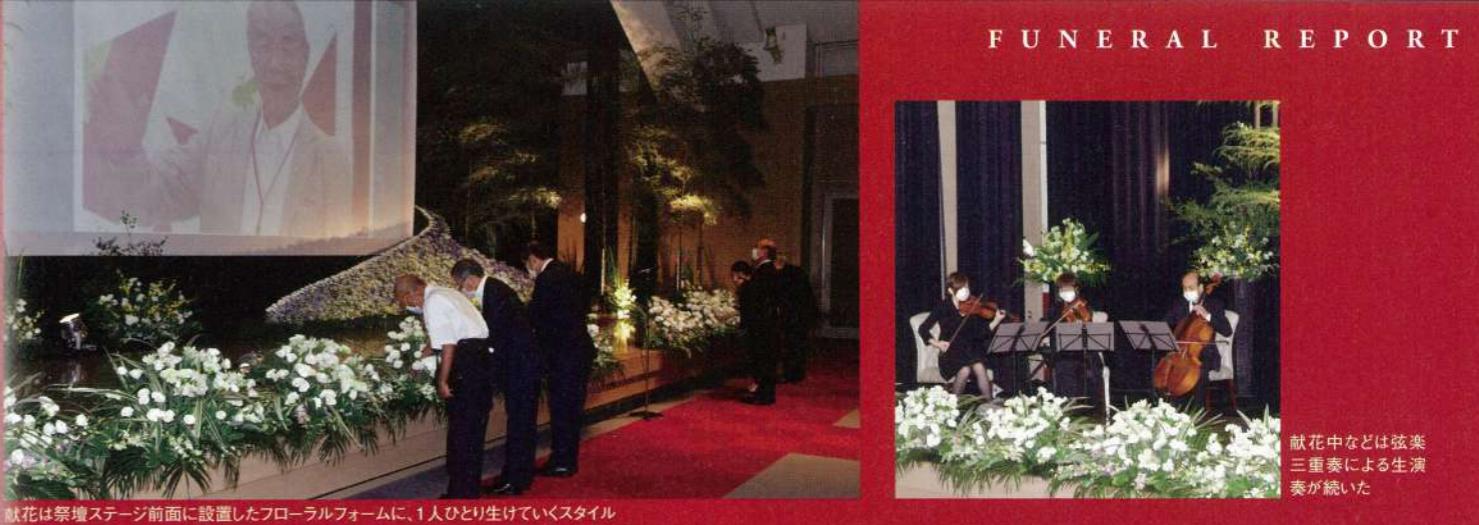
会場は清月記が運営する「仙台迎賓館 斎苑」。コロナ禍にあって、密にならない仙台随一の規模を誇ることが選択理由となった。

お別れ会の日程は、故人の誕生日である9月3日が候補になったが、四十九日に当たる8月8日が選ばれた。同日は工藤電機の創立記

念日であり、さらには本来であれば「仙台七夕まつり」が開催される日であった。こうしたことから、祭壇は七夕らしいデザインが採用された。

故人の功績から、本来であれば全国各地から多数の参列が見込まれたが、コロナ禍の状況を鑑み、案内状送付は絞りに絞って、当日は約250人が集った。会場入口ではサーモグラフィによる検温、手指消毒を行ない、受付にもアクリルのパーテーションを設置。式場では隣席を空けての着席とし、万全の防御対策のなかで挙行された。

献花については、単に一輪咲きの花を手向けるのではなく、祭壇ステージ前面に設置したフローラルフォームに、1人ひとり生けていくスタイルとした。これにはものづくりに尽力した故人を称え、参加型の献花にしたいという主催者の想いが込められている。そして献花が終わって祭壇が完成するという趣向である。この献花中



献花中などは弦楽三重奏による生演奏が続いた



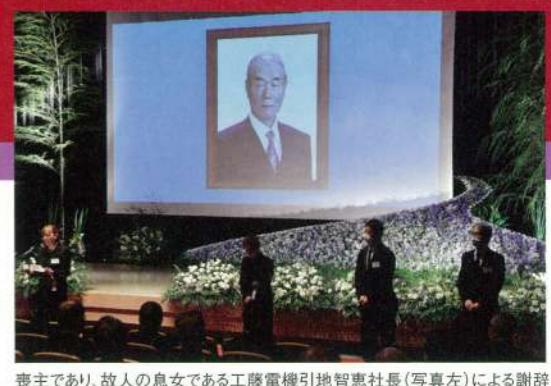
式場では隣席を空けて着席



「仙台迎賓館 斎苑」本館前に設置された門標(会場は別館)



一般、会社関係、諸団体、官公庁・大学関係の4区分された受付には、アクリルのパーテーションを設置



喪主であり、故人の息女である工藤電機引地智恵社長(写真左)による謝辞



宮城県知事、仙台市長などから届いた供花

式次第

- 開会
- 献花
- メモリアルムービー
- 黙祷
- お別れの言葉
- 弔電披露
- 挨拶
- 謝辞
- 閉会

七夕をデザインしたパネルは、故人が設立した仙台市太白少年少女発明クラブの子どもたちから届いたメッセージ。2017年に受章した旭日双光章などが掲示された



故人の社長時代、会長時代の歩みを示したパネルは、写真選びから文章、レイアウト作成まで社員が手がけた



閉会後に行なわれたティーパーティ